

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 2 月 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103862		
法人名	有限会社ティーエムコーポレーション		
事業所名	グループホーム すみれの里		
所在地	松山市南高井町1808-4	(電話) 089(976)0377	
管理者	森 陽子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 2 日	評価確定日	平成 20 年 2 月 7 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 9 月 25 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 10 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 7.5 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	13,500 円	
敷 金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 9 月 25 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護 1	2 名		要介護 2	3 名	
要介護 3	6 名		要介護 4	4 名	
要介護 5	3 名		要支援 2	名	
年齢	平均 82 歳	最低 65 歳	最高 98 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは交通量の多い道路に面し、利用者が歩道に出るには細心の注意が必要である。周りには大小の工場があり、民家は工場の間に散在しているため、近所付き合いには工夫が必要であろうことがうかがえる。ホーム内は明るく整理整頓が行き届き、利用者の表情は明るく穏やかで、それぞれの居場所ので仲良く語り合っている姿が見られる。職員の声かけはさりげなく、「～をお願いできますか」「ありがとう」という言葉が中心である。職員のモットーは「笑顔を絶やさず、優しい気持ちで接する」であり、職員間のコミュニケーションも取れ仕事は楽しいという

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
災害対策について具体的に検討している。消防署の指導を受けながら夜間を想定した訓練も実施し、完了までの必要時間等も細かく測定している。なお近隣に在住する職員がいないため、災害時には地元消防団に直接連絡するシステムになっている。運営推進会議でも地域の協力を得た災害対策の検討が始まっている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
評価のねらいや活用法について全職員が十分理解しているとはいえない部分もあるが、今回の自己評価は職員全員で分担して行い、管理者、職長がまとめている。結果は運営推進会議でも報告することになっている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
ホームの立地条件が影響して運営推進会議のメンバーの選定にも苦労している。運営推進会議は平成19年度から2か月に1回開催している。まだ始まったばかりで軌道に乗っているとは言えないが、利用者が地域に受入れてもらえるよう地道に努力していきたいと考えている。なお第1回会議で地域行事に参加したい旨を伝えたとこ早速委員から情報提供いただいた。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重要事項説明書に苦情相談窓口を第三者機関も含めて明記しているが、日常的には面会時や電話連絡、毎月の請求書送付時に意見交換できるようにしている。以前家族から「本人が希望してもマニキュアはしないほしい」という意見があり、すぐ対応し処理簿にも記載している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
職員は日常的に地域と繋がることの難しさを痛切に感じている。町内会に所属できたので、今後は情報交換に努力し行事にも参加し、利用者の生活に楽しみを増やしていけると期待している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

すみれの里

(ユニット名)

しばもち

記入者(管理者)

氏名

山根 幸重

評価完了日

平成 19 年 9 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 施設での理念もあり、ユニットでの目標も掲げている。 (外部評価) ホーム設立時に運営法人としての介護理念を掲げているが、職員はより具体的なものとして日々の活動の方針を介護目標としている。求められるホームの役割としての地域密着型サービスについては具体的に考えられていない。	※	利用者が日々の生活の中で安心・安定を得るための地域との関係について職員間で十分検討し、実施することを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 目の届く場所に貼ってあり、実践するように努力している。 (外部評価) 介護目標の一つを「優しい心、ぬくもり・愛ある介護」とし、目につく場所に掲げている。職員は日々理念を共有しながらケアに活かすよう努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関はいった目のつくところに貼ってある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などへ行った時などに、季節の花がお庭などに咲いていて、お家の方と話をしたり、花を頂いたりすることがある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 色々な行事などの、誘いをさせていただき地元の方々と、楽しく過ごせている。 (外部評価) 利用者の家族によっては入居していることを知られたくない場合もあり、日常的な付き合いには苦慮している。町内会に加入し地域行事の案内も得られるようになったので更に努力したいと考えている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議のときに話題にあげて、取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の評価で、要改善になっていた項目をミーティング時に話し合いあつたりしている。 (外部評価) 評価のねらいや活用法について全職員が十分理解しているといえない部分もあるが、自己評価は職員全員で分担して行い、管理者・職長がまとめている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議に参加してくださる方は、年配の方が多いので、外出はできるならたくさんさせてあげれば、喜ばれるし、すごく落ち着かれるよ。屋外に出るだけでも違うよ。など言ってくださり、少しでも出るようにしている。 (外部評価) 運営推進会議は平成19年度から2か月に1回実施している。会議はまだ始まったばかりで軌道に乗っているとはいえないが、ケアに活かせる内容にしたいと時間や場所、参加メンバー、テーマ等工夫している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 会議以外に、会う機会がまだない。 (外部評価) 介護相談員の受け入れや課題解決のための関わり等、市との関係は運営推進会議を通して始まったばかりである。	※	会議以外にも会って、色々な情報をいれサービスの向上に役立てたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者・職員共に研修を受けており、理解している。利用するとよいと思われる利用者には、制度を紹介して、検討してもらっている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者・職員共に研修を受けており、理解している。ミーティングなどで、話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 納得してもらえるように説明している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 買物や美味しいものが食べたい、などの意見は、個々に聞きだしプランにいられて実践している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月1回、健康状態や外出した事などを報告している。来所時などにも報告している。 (外部評価) 毎月の請求書にメッセージを記入する欄があり、その他健康状態や外出時の状況、金銭出納簿等も報告している。面会時には口答でも説明している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来所時や、電話などで聞いている。それ以外の方々は毎月の手紙に書いてあり、気になることなどあれば連絡して頂けるようにしている。 (外部評価) 運営規程や重要事項説明書に明記しており、入居時に十分説明している。苦情処理簿をつくり、相談内容・処理状況等を記録して保管している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回のミーティング時や、個々に聞くようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要に応じて、増員したりしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動はあるが、極端に違うタイプの交代はなるべく控えている。 (外部評価) 管理者は馴染みの関係の大切さを十分理解しているが、他の職場も経験したいと希望したベテラン職員の離職もある。採用にあたっては利用者の雰囲気になれる人を求めている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 育成する意味での、短期間の移動などがある。 (外部評価) 外部研修等は運営法人本部から情報が入り、研修参加を指示されることもある。それらの情報は公開されているが、研修時の記録等は個人で保管し、報告も勉強会として特別に設定されたものではなくミーティング時に行っている。	※	ミーティングは毎月1回、全員参加を原則に実施されているため、更に資格取得に向けた研修体制や全職員のレベルアップの為の学習会の位置づけなどについて工夫することを望む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域の同業者との交流は、出来ていない。 (外部評価) 同系列5グループホームの責任者は毎週1回運営会議を開催する他、県グループホーム連絡協議会にも加入している。	※	相互訪問・勉強会・地域のことなどを、話し合いたい
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員相互、何でも話せる関係づくりをしていて、自宅まで持ち帰らないように心がけている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 個々に評価してくれていると思う。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人さんから聞くことが、なかなか出来ず家族さんから聞くことが多い。(介護度が、高い為。)		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に、なるべく多くお聞きするようには努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 見極めるように努力している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族が見学に来られることもあるが、利用者が来られることは、身体上のこともあり困難な場合が多い。 (外部評価) 運営法人本部に入居アドバイザーが配置されており、管理者が一度も相談を受けたり面接もしないまま入居に至ることもある。職員は本人の安心と納得を大切にしたいと考えている。	※	入居アドバイザーと各ホームの管理者及び職員との連携を更に密にする取り組みを期待する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に食器拭きや、洗濯物量みや、昔の料理の作り方などをおしえてもらいながら、過している。 (外部評価) 利用者と職員の関係は良好であり、利用者の表情は穏やかで明るい。日頃から支えあう関係ができていく賜物と想像できる。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 今どうしたいかを、きちんとお聞きしてプランにいれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) しばらく来所されていない家族には、電話をして利用者に声だけでも聞かせてあげ、お互いに安心してもらっている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) よく散歩などしていた場所などへ、ドライブがてら行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が間に入り、一緒に作業などに参加し、お互いに支えあっている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じて、関わりを持っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の希望に、そえるように努力している。 (外部評価) 思いや意向の把握は個人対応・ケアの中から把握し、職員間の共有は口答を中心に行っており、記録はほとんど残していない。職員の離職に伴いせっかく把握した情報が途切れることも考えられる。	※	利用者一人ひとりの思いや意向の他、家族から得た情報も記録に残し、ケアの根拠になるよう工夫することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 世間話などをしながら、聞きだせている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 職員一人一人が感じたことなどは、記録に記載して口頭でも申し送りしており、全員把握できている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) みんなで意見を出し合い、一人一人にあったプランを作成している。 (外部評価) 毎月1回、全員参加を基本にカンファレンスを中心にしたミーティングを実施し、記録に残している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) そのつど見直して、みんなの意見を出し合い、期限も短くしたり工夫してプランのたてなおしをしている。 (外部評価) 基本的には3か月に1回、介護計画の見直しを行なっているが、毎月のミーティングの結果に基づき臨機応変に変更し家族の了解も得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録に細かく記載して、特に変化がある場合は、申し送りノートにも記載して出勤時には、必ず目をとらすようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 出来るかぎり支援している。 (外部評価) 現時点では指定介護予防及び医療連携体制加算の指定を受けているが、短期利用についても検討中である。職員は利用者の希望に沿いたいと考えており、その言動の中に優しさが読み取れる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 努力している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 通院などの時に、他の事業所へ連絡とり介護タクシーを利用している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 連絡を取り合い情報交換している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医のある方は、継続して診ていただくように医師と連絡とっている。無い方は家族と話し合い医療機関をみつけている。 <hr/> (外部評価) かかりつけ医や希望する医療機関での受診を支援しており、受診に関する情報交換にも十分な注意を払っている。	※	全身リウマチや拘縮により移動時痛みを訴える利用者もいるため、ストレッチャー対応車の導入等についてホームとして運営法人と共に検討することを期待する。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 電話での対応などもしていただき、利用者が穏やかに暮らせるように相談にのってくれる医療機関を確保している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニット内に看護師がおり、全利用者の状態を把握しており、受診時など可能なときは同行してくれている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院後もたびたび面会へ行き、担当の看護師や医師に状態などを聞いている。退院ごの受診のことなど相談している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族も忙しくなかなか面会に来られなく、全員には詳しく話せていないが、高齢の利用者の家族には、段階をふんで話している。 <hr/> (外部評価) 現在までに職員も看取りを経験している。看取り介護実施に向けた取り決めを利用者及び家族全員に説明し、段階に応じて将来に向けての意向の把握にも努めている。	※	年齢に関係なく、なんでも早めに対処し、ゆとりをもってケアする為にも、家族の意向をしり医師や職員との話し合いが必要である。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 病院ではないので看護面での、できることがかぎられている為担当医と家族と連携をとり、穏やかに過せるように取り組んでいる。日々体調の変化がみられるので、職員、医師、看護師、家族みんなでつねに検討することが大切。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族から突然に告げられる事が多いので、話し合いは十分とはいえない。書面にての情報提供はしている。	※	書面だけでは把握できない事が多いので、急な場合でも現在過されているところへ行き、関係者などから情報を収集することで、利用者が安心して移り住むことができる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) その方に合った言葉で、声掛けしている。 (外部評価) 訪問時、排泄の誘導・介助の場面に接する機会があったが、その様子は優しく穏やかであった。日々の記録等の書類については各ユニットに専用ケースを置いて保管している。	※	面会簿が玄関入口に設置されているが、個人情報保護の観点から再検討することを望む。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) お出かけの時などは、衣装決めなど一緒に考えて、好きな服をきて出かけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事などは、一律に時間を決めていたのではなく、食べようとする意欲にあわせるようにしている。 (外部評価) 職員は本人が望む過ごし方やペースに合わせた支援を常に心がけている。起床等も一応の声かけはするが、その日の調子に合わせて待っている。外食の希望も多く、月1回は外食に出かけている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者から訴えられる事もあるが、職員からそっと声をかけ、そろそろ・・・などの返答があれば、理容室に行かれるかたもいるが主張美容師さんをお願いする方もいる。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の状態にあわせて、職員と一緒にお箸ならべや、片付けをしている。 (外部評価) 運営法人の栄養士による献立を基本に、各ユニットごとに利用者の好み等に合わせて変更している。穏やかな食事風景で利用者間の会話もあり、全員全摂取であった。また下膳も一人ひとりゆっくりその人のペースで行っていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつなどは、一緒に買物に行き利用者に選んでもらえるようにしたり、会話のなかなどから、好みの物などを聞きだしてお出ししている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人一人にあった排泄パターンに合わせ、時間をだいたひ決めてトイレ誘導やおむつ交換をして、不快を与えないようにしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 訴える事の難しい方が多いので、一応決めてあるが、必ず声をかけて利用者の意見をお聞きするとうにしている。予定以外の方が希望する場合にも、入っていただいている。 (外部評価) 入浴を拒否する利用者もいるが、週2回は入浴して欲しいと考え、散歩での汗を流すと説明して入浴したり、家族の前では機嫌よく入浴する利用者もいる等、それぞれに工夫している。なおホームには特殊浴槽もある。	※	週2回の入浴を基本としているが、さらに工夫することを期待したい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 疲れているようなときには、声をかけ自室にて休んで頂くようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) それぞれの得意なことなどを把握して、気分転換できるように支援している。 (外部評価) 利用者に「三越で買い物をしたい」と希望する人もいるが、まだ叶えられていない。食事の片付け等本人の希望や力に合わせた支援をするよう努力している。職員は常に「ありがとう」という言葉を使っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金は施設が預かるようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) その日の体調や、天気に合わせて散歩などに出かけている。 (外部評価) ホームは交通量の多い道路に面しているため、気軽に散歩に出かけられる立地条件にはない。運営推進会議で外気に直接触れる、太陽光線を浴びる、外の生活の雰囲気を知るだけでも気分転換になると提案され、実行しようと予定している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別でのお出かけもあるし、全員でのお出かけも支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来客があれば、自室にてゆっくり過ごしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティング時などにも話し合い、職員も理解している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間は、職員が一人とゆう事もあり、鍵をかけるようにしている。 (外部評価) 帰宅願望の強い利用者がいた時は施錠したこともあるが、現在は運営法人からも禁止するよう指導もあり日中は鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜ともに把握しており、夜間の巡回は二時間に1回行い、必要に応じて時間短縮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 転倒の危険がある方は、自室に音センサーを置いて対応している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 避難訓練などを行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議のときに話題にあげて、協力していただけるようお願いしている。 (外部評価) 火災報知器・消火器が設置されている。消防署の指導を受けながら夜間を想定した訓練も実施している。地域在住の職員がいないことから、災害時には地元消防団に直接連絡が入るシステムになっている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時や、状態に合わせて説明し、理解を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 更衣時・入浴時などに、観察して変化があればそのつど対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々のアセスメントにも記載しており、変更があれば申し送りして、職員全員理解している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日体調に合わせて、リハビリ体操をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に個々に合った口腔ケアをしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量を個々に把握する為に、水分チェック表を作りそのつど摂れた量を記入している。 (外部評価) 献立は栄養士の作成したものを基本に利用者の好みに合わせて変更している。栄養摂取量や水分量はチェック表で把握している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成しており、職員全員りかいし実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 生物を切った場合には、そのつど泡ハイターで消毒しており、夕食の片付け後には、ふきん・まな板などの消毒を毎日している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に季節の花を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせて壁の絵を変えている。室温に気をつけている。 (外部評価) 1階のユニット入口でウサギを飼い、観葉植物等生命感あふれる小物も置かれている。ソファもうまく配置され、歩行訓練器具もある。利用者はそれぞれの好みの場所で寛いでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブルより少し下がったところに、ゆったり座れるソファを置いてある。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所前に使用していた、馴染みのものを持ってきていただき、自室内に置いたり飾ったりしている。 (外部評価) 居室のベッドやタンスは備品であるが、配置は自由に換えられる。個人の物の持ち込みは少ないが家族の写真や手作りの作品などを飾り、落ち着いた感じがある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度調節はこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下・トイレ・風呂場などに、てすりをつけている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 声掛け誘導し、時間がかかってもご自分で最後までして頂くように支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 天気の良い日に、建物の周りを散歩したりしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	何処へ行き、何を食べたいか、それぞれに意見を聞きプランにとりいれている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	昼食後には、必ず30分はせきを立たずに、おしゃべりなどをして過している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	朝起きる時間も、夜寝る時間も、利用者それぞれに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来ている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日には無理でも、何日後かには出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	転倒などが無いように、必ず見守りしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訴えや、希望などをお聞きして対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	忙しくなかなかお会いできない家族もいるので、書面にて問いかけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	運営推進会議の時に、地域の方が来られるぐらい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	行事などがある時に、お誘いいただき楽しく参加させてもらっている。会議をどうし て、どうゆう方達が入所しているのか理解して下さるようになっていく。
98	職員は、生き活きと働いている (自己 評価) ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	みんなで声をかけあいながら、協力して楽しく働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いつも、ありがとう・楽しかったなどの言葉を言ってくださるので、満足してくれて いると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	入所してから、色々なところに連れて行ってもらい、毎日楽しそうに過ごしているの で以前より、表情が良くなったとたくさんの方が言ってくださる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

笑顔をやささず、優しい気持ちで接する。最後のときまで、みんなで穏やかにゆっくりと一緒に過せるよう支援していく。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	すみれの里
(ユニット名)	かりんと
記入者(管理者)	
氏名	森 陽子
評価完了日	平成 19 年 9 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 設立時に理念を掲げている。ユニットにおいても目標を掲げています。 (外部評価) ホーム設立時に運営法人としての介護理念を掲げているが、職員はより具体的なものとして日々の活動の方針を介護目標としている。求められるホームの役割としての地域密着型サービスについては具体的に考えられていない。	※	利用者が日々の生活の中で安心・安定を得るための地域との関係について職員間で十分検討し、実施することを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 目に付く場所に貼り目標意識も持つようにとりくんでいます (外部評価) 介護目標の一つを「優しい心、ぬくもり・愛ある介護」とし、目につく場所に掲げている。職員は日々理念を共有しながらケアに活かすよう努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関に提示し、家族や、地域の方にも見やすい場所に貼っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 花を植えるなどして極力立ち寄りやすい雰囲気になっています		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入し、努力している。 (外部評価) 利用者の家族によっては入居していることを知られたくない場合もあり、日常的な付き合いには苦慮している。町内会に加入し地域行事の案内も得られるようになったので更に努力したいと考えている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に1度運営推進会議の場所においても話題となり努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り努力している。 (外部評価) 評価のねらいや活用法について全職員が十分理解しているといえない部分もあるが、自己評価は職員全員で分担して行い、管理者・職長がまとめている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) とても参考になりサービスに活かしていこうと努力している (外部評価) 運営推進会議は平成19年度から2か月に1回実施している。会議はまだ始まったばかりで軌道に乗っているとはいえないが、ケアに活かせる内容にしたいと時間や場所、参加メンバー、テーマ等工夫している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 会議のときだけの意見交換にならないように今後も密接な関係作りをしていきたい。 (外部評価) 介護相談員の受け入れや課題解決のための関わり等、市との関係は運営推進会議を通して始まったばかりである。	※	会議の時だけの顔合わせ的なものでなく相談などの関係づくりを大切にしていきたい
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 理解はしているが、未だ活用した事がない。	※	これからさきに各当されう利用者がいれば支援していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) スタッフ、職員一同防止に努めている。また虐待についても勉強している。	※	これからも虐待については、防止していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時、入居後も説明している。	※	入居時に本人だけが突然入居されるケースが多くなり十分な理解が得られてない場合が最近多く見られるので注意していきたい。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 出来る限り努力している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月手紙にて報告している。 その他急変時は、電話報告をしている。 (外部評価) 毎月の請求書にメッセージを記入する欄があり、その他健康状態や外出時の状況、金銭出納簿等も報告している。面会時には口答でも説明している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 出来る限り努力している。 (外部評価) 運営規程や重要事項説明書に明記しており、入居時に十分説明している。苦情処理簿をつくり、相談内容・処理状況等を記録して保管している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎日に仕事のなかにおいて意見を聞く努力をしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り努力している。	※	急変時、病院受診時は多めに時間調整している。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 出来る限り努力している。 (外部評価) 管理者は馴染みの関係の大切さを十分理解しているが、他の職場も経験したいと希望したベテラン職員の離職もある。採用にあたっては利用者の雰囲気に沿える人を求めている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各人に合わせ研修や講習を考慮している。勤務時間外でも研修を受けれるように情報提供している。 (外部評価) 外部研修等は運営法人本部から情報が入り、研修参加を指示されることもある。それらの情報は公開されているが、研修時の記録等は個人で保管し、報告も勉強会として特別に設定されたものではなくミーティング時に行っている。	※	ミーティングは毎月1回、全員参加を原則に実施されているため、更に資格取得に向けた研修体制や全職員のレベルアップの為に学習会の位置づけなどについて工夫することを望む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 個人的には出来ているが施設としては、困難を感じている。 (外部評価) 同系列5グループホームの責任者は毎週1回運営会議を開催する他、県グループホーム連絡協議会にも加入している。	※	今後、同業者との交流を図って行きたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り努力している。半年に1回程度の慰労会を行っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 出来るだけ努力している。	※	男性職員ならではの利点を活かせる能力開発に努力していきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人と相談しながら努力している。	※	入居されるまで営業管轄のためアセスメントや参考資料が少なく施設見学もされずに入居されている事が多いので入居前に十分な馴染む時間(本人、スタッフ)をとっていきたい
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 努力している	※	入居されるときに家族援助が多く見られ本人がかなり困惑されているケースがあり馴染まれる時間を多く設けていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族と話し合いながら本人の状態を考え対応している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 運営法人本部に入居アドバイザーが配置されており、管理者が一度も相談を受けたり面接もしないまま入居に至ることもある。職員は本人の安心と納得を大切にしたいと考えている。	※	入居アドバイザーと各ホームの管理者及び職員との連携を更に密にする取り組みを期待する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人との関係を大切に考えて支援している。 (外部評価) 利用者と職員の関係は良好であり、利用者の表情は穏やかで明るい。日頃から支えあう関係ができていく賜物と想像できる。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族しか知らない本人の様子を聞いたり共に情報交換する様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 努力している。	※	様々な家庭の事情があると思うが一月に1回程度の面会や、歩行可能な方なら年に1度家庭で過ごす時間が作れる様に支援、相談して行きたい
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 努力している		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食事やレクレーションなど利用者同士が関われる機会を多くするようにつとめている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要とされるかぞくにたいしては大切にかんがえている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個人対応を原則として努力している。	※	リビングに出てくる事が出来ても、居室にて一人で食事がしたいときには、食事を運んだりしています
			(外部評価) 思いや意向の把握は個人対応・ケアの中から把握し、職員間の共有は口答を中心に行っており、記録はほとんど残していない。職員の離職に伴いせっかく把握した情報が途切れることも考えられる。	※	利用者一人ひとりの思いや意向の他、家族から得た情報も記録に残し、ケアの根拠になるよう工夫することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人と話し合い把握につとめている	※	サービス利用についてはなるべく細かい記載を前任担当者をお願いしたい
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 季節や日々により変化するので半年から一年経過するまでは注意している。その後、総合的に把握できていると思う。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 毎月、1回スタッフ間でミーティングを行い、必要時にはノート記載にてアイデアを出し計画作成し、家族にも出来る限り意見を聞いている。 (外部評価) 毎月1回、全員参加を基本にカンファレンスを中心にしたミーティングを実施し、記録に残している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 入院等において状態が大きく変化した場合などは、新たに作成している。 (外部評価) 基本的には3か月に1回、介護計画の見直しを行なっているが、毎月のミーティングの結果に基づき臨機応変に変更し家族の了解も得ている。	※	出来るだけ介護認定の時期に合わせて計画を立てるように努力したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の記録に記載し、見直しに取り入れている。	※	本人の記録以外にも申し送りノートを使い情報の共有に努力している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 出来る限り支援している。D (外部評価) 現時点では指定介護予防及び医療連携体制加算の指定を受けているが、短期利用についても検討中である。職員は利用者の希望に沿いたいと考えており、その言動の中に優しさが読み取れる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 努力している		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 出来ているとおもう。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 出来ているとおもう。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人と医師との今までの関係を尊重している。	※	今までのかかりつけ医が遠方の場合のみ本人、家族と相談の上近隣病院に代わっていただいている。
			(外部評価) かかりつけ医や希望する医療機関での受診を支援しており、受診に関する情報交換にも十分な注意を払っている。	※	全身リウマチや拘縮により移動時痛みを訴える利用者もいるため、ストレッチャー対応車の導入等についてホームとして運営法人と共に検討することを期待する。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 出来ているとおもう。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 出来ているとおもう。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 出来ているとおもう。	※	退院時カンファレンスを開いてもらい情報交換や相談の場を作っている。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 出来ているとおもう。		
			(外部評価) 現在までに職員も看取りを経験している。看取り介護実施に向けた取り決めを利用者及び家族全員に説明し、段階に応じて将来に向けての意向の把握にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在胃ろうの方が2名 家族了解の下に看護師指導の下スタッフ全員が吸引を行っています。これから重度になっても最後まで暮らせる場所であるように努力したい。	※	ベテルクリニックと協力しターミナルを実践しています。 これからも取り組んでいきたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 出来ているとおもう。本人の強い希望を最優先に考え取り組んでいる。	※	自宅への住み替え時など訪問介護や訪問医療の相談情報提供をおこなってダメージ防止に努めた。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーに十分配慮している。 (外部評価) 訪問時、排泄の誘導・介助の場面に接する機会があったが、その様子は優しく穏やかであった。日々の記録等の書類については各ユニットに専用ケースを置いて保管している。	※	面会簿が玄関入口に設置されているが、個人情報保護の視点から再検討することを望む。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 出来ている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 職員は本人が望む過ごし方やペースに合わせた支援を常に心がけている。起床等も一応の声かけはするが、その日の調子に合わせて待っている。外食の希望も多く、月1回は外食に出かけている。	※	一日の介護時間をもう少し多くしていれば外出や買物、ドライブなどもっと希望にそえと思う。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 努力しているが介助が必要な為困難な場合が多い。	※	近隣で理解して下さる理容室があるので利用している。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る限り行っている。 体調を考慮し声掛けを行っている。 (外部評価) 運営法人の栄養士による献立を基本に、各ユニットごとに利用者の好み等に合わせて変更している。穏やかな食事風景で利用者間の会話もあり、全員全摂取であった。また下膳も一人ひとりゆっくりその人のペースで行っていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 出来るかぎり支援しているが最近の傾向で入居時に禁煙を理解してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 出来ている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 出来ている。 (外部評価) 入浴を拒否する利用者もいるが、週2回は入浴して欲しいと考え、散歩での汗を流すと説明して入浴したり、家族の前では機嫌よく入浴する利用者もいる等、それぞれに工夫している。なおホームには特殊浴槽もある。	※	週2回の入浴を基本としているが、さらに工夫することを期待したい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 出来ている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 出来る限り本人の能力に合わせた支援を行っている。 (外部評価) 利用者に「三越で買い物をしたい」と希望する人もいるが、まだ叶えられていない。食事の片付け等本人の希望や力に合わせた支援をするよう努力している。職員は常に「ありがとう」という言葉を使っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には、小口現金預かりを実施。買物の時にのみ本人の能力に合わせ支払い等の援助を行っています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来る限り支援している。 (外部評価) ホームは交通量の多い道路に面しているため、気軽に散歩に出かけられる立地条件にはない。運営推進会議で外気に直接触れる、太陽光線を浴びる、外の生活の雰囲気を知るだけでも気分転換になると提案され、実行しようと予定している。	※	家族の協力やボランティアの協力を得て今まで以上に支援出来る様にしていきたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 毎月1回はドライブや外食、を計画している。春のイチゴ狩り、秋のぶどう狩りは恒例行事になりつつあり家族参加も声掛けしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 特に制限をしていないが公衆電話でないため電話代金請求が行われない為長電話のときは相手の方に掛けてもらう様にしている。手紙地については一切制限していない。	※	出来れば公衆電話の設置を望みたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 本人や家族が面会拒否されない以外はどなたであっても制限していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解し取り組んでいるが生命の危機があると判断したときのみ短時間のみ拘束をやむおえず家族了解のもととりにくんでいる。	※	どうしても胃ろうのときに抵抗が強い時のみ吸引や食事をしないと生命に関わる為短時間のみ拘束を行っている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵を掛けないどころよくをしている (外部評価) 帰宅願望の強い利用者がいた時は施錠したこともあるが、現在は運営法人からも禁止するよう指導もあり日中は鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 出来ている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 出来ている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアル作成し防止に取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師の指導のもと勉強しているが定期的とは言えない	※	年間2回程度消防訓練を実施しているので出来ればその時に心肺蘇生などの訓練を行って貰えるようにしたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 訓練をおこなっている。 (外部評価) 火災報知器・消火器が設置されている。消防署の指導を受けながら夜間を想定した訓練も実施している。地域在住の職員がいないことから、災害時には地元消防団に直接連絡が入るシステムになっている。	※	近隣に協力してもらえるようにこえを掛けたり地域行事に参加する事で認識して貰えるように努力している。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 個人を尊重し家族に相談連絡を行い対応している。でき		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 出来ている		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 管理表を作成し確認。変化がある場合ノート記載し速やかに全員把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄管理表作成し排便、排尿にきをつけている。また影響についても理解している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 週1回程度の割合で口腔衛生士に指導をうけている。個人に合わせて支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 出来る限り行っている。 (外部評価) 献立は栄養士の作成したものを基本に利用者の好みに合わせて変更している。栄養摂取量や水分量はチェック表で把握している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 排泄物にたいしては必ず指定の容器にて除菌。感染を防止する為手袋、マスク着用装備している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、ふきんに関しては毎日除菌漂白。食材にも注意している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 努力している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 工夫している。 (外部評価) 1階のユニット入口でウサギを飼い、観葉植物等生命感あふれる小物も置かれている。ソファもうまく配置され、歩行訓練器具もある。利用者はそれぞれの好みの場所で寛いでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを置いたりして工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に出来るだけ馴染みの物をたくさん持ち込んでもらうように声掛けしている。 (外部評価) 居室のベッドやタンスは備品であるが、配置は自由に換えられる。個人の物の持ち込みは少ないが家族の写真や手作りの作品などを飾り、落ち着いた感じがある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 24時間換気を行い配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 工夫されていると思う。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 出来ている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外周りは車の往来が激しくスタッフ付き添う事で散歩をしたり花の手入れ等の活動を行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	個人対応を基本と考えてすごして頂いている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日、10時～30分程度、夕食後テレビを見たり一緒にお茶を飲んだりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴や食事の声掛け以外では自分のペースで生活されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	得意な分野を引き出す事で笑顔が増えてきている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	寝たきりの方以外はリクエストを聞いて月に1回はドライブに出掛けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	係りつけ医を持ち定期的を受診、往診に来てもらっている。 毎日、看護師によりバイタルチェックをおこなっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほぼ要望に応えられるように努力している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には少しでも家族の方と話をする様になっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	入居間もない時などは友人、の面会もある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

施設近隣の方と親睦を深めくすみれの里>を理解して貰いお互いに地域への貢献、又協力しあっていきたい。
最後の日まで住み替える事無くスタッフ一同協力し支えて行けるようにお世話します。(家族希望の時)